

図 60-A

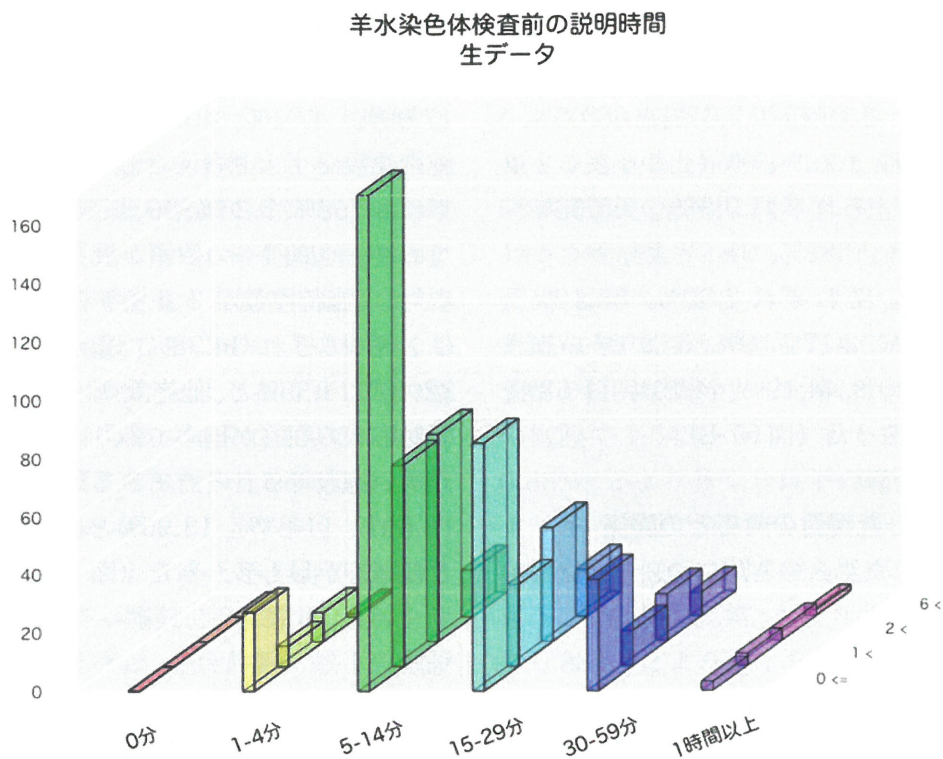


図 60-B

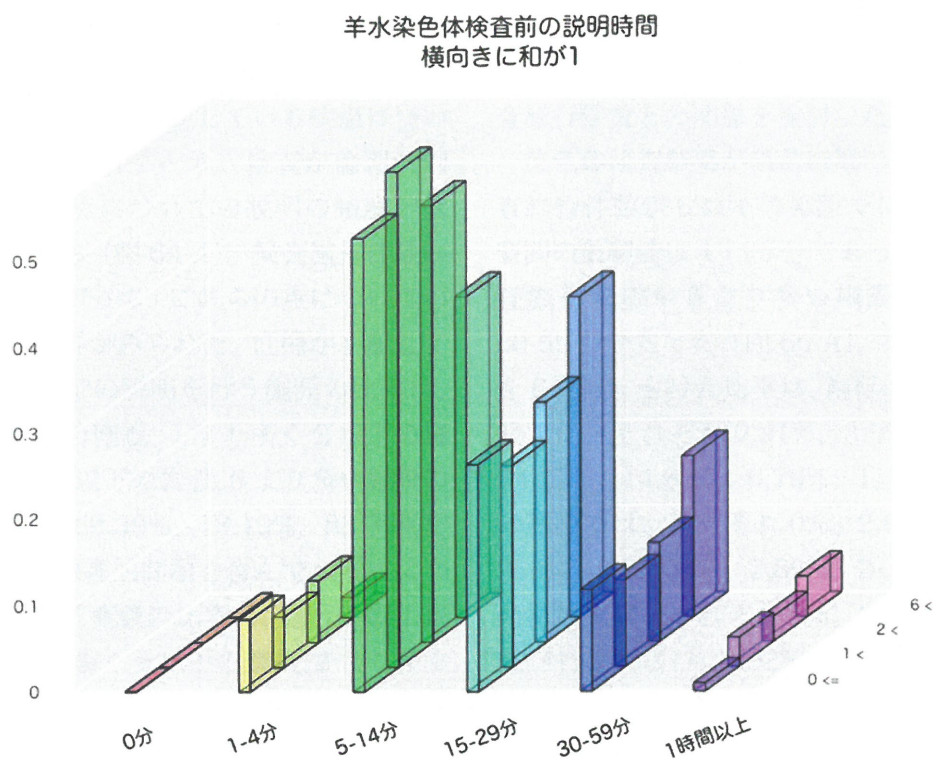


図 61-A

羊水染色体検査の説明を行なっている主な診療
生データ

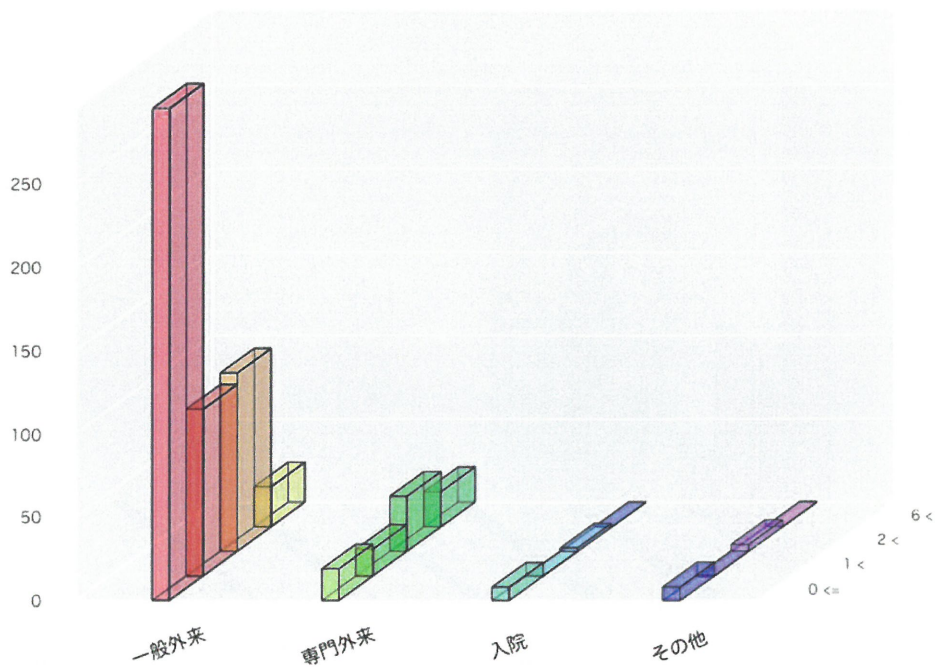


図 61-B

羊水染色体検査の説明を行なっている主な診療科
横向きに和が1

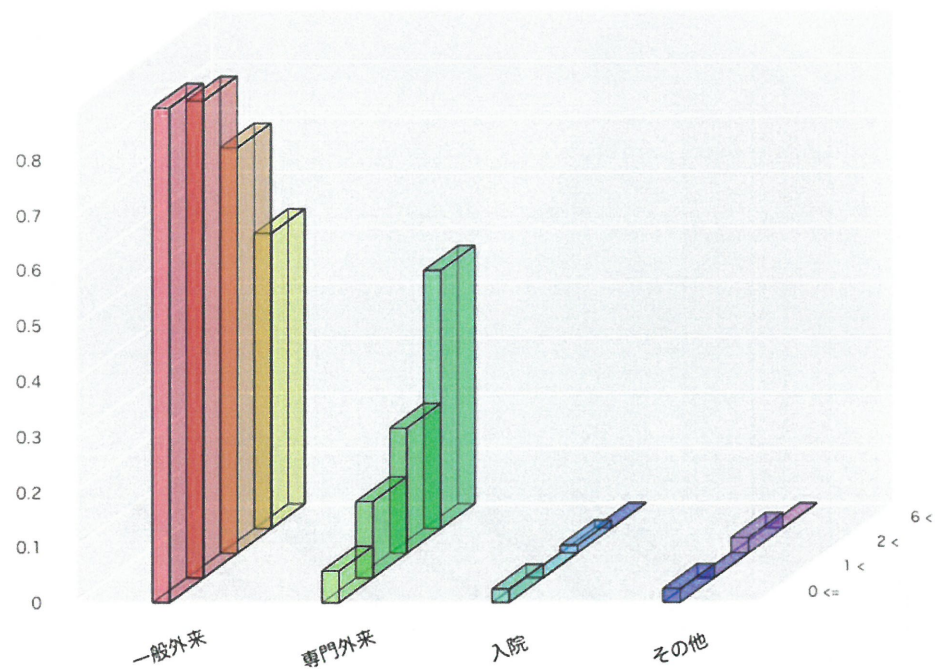


図 62-A

羊水染色体検査前の主な説明担当者
生データ

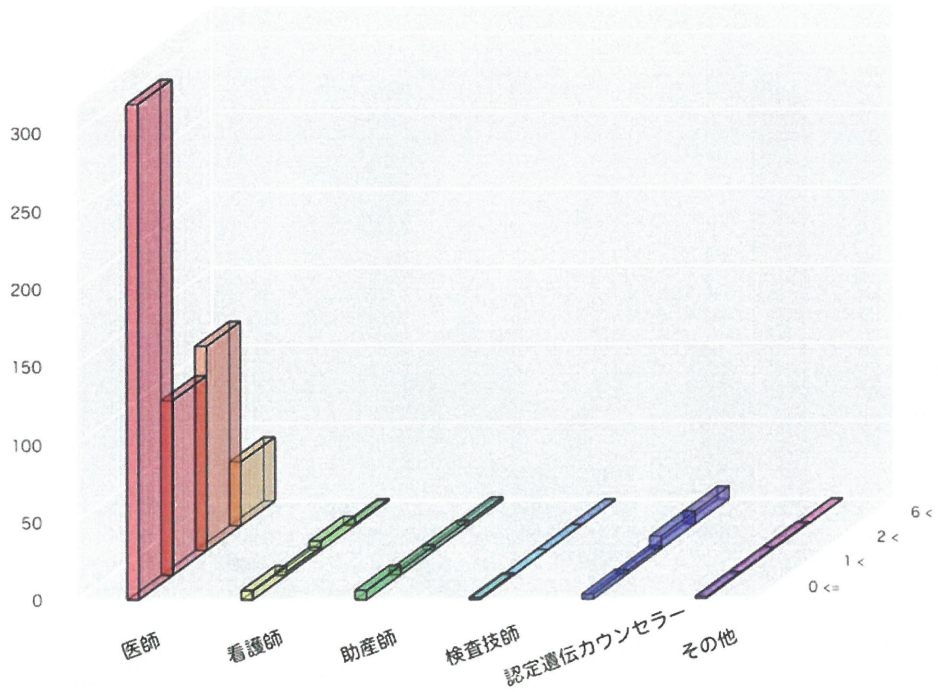


図 62-B

羊水染色体検査前の主な説明担当者
横向きに和が1

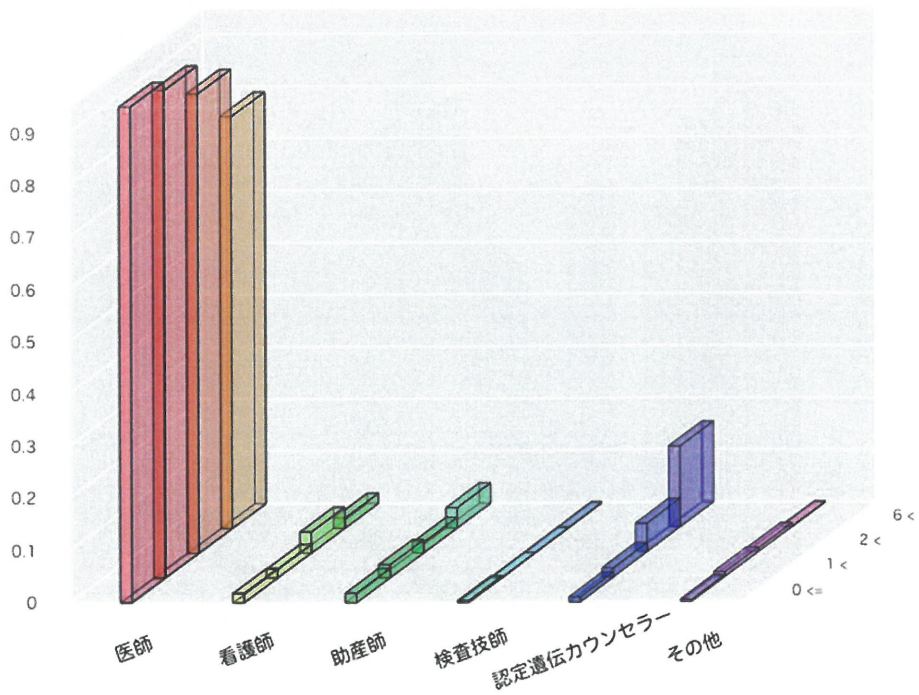


図 63-A

羊水染色体検査の説明資料
生データ

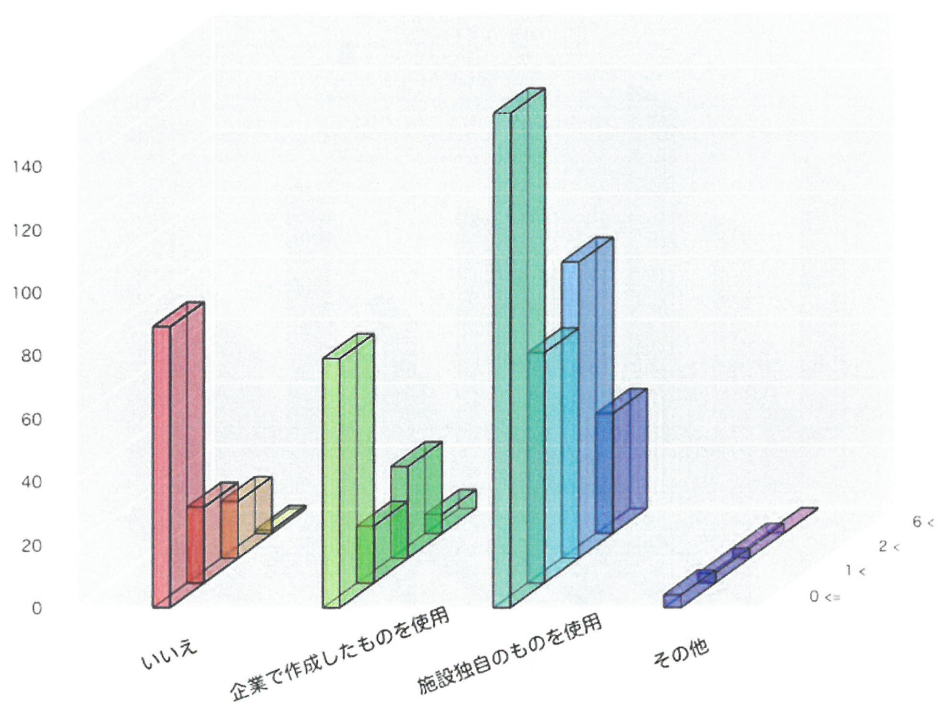


図 63-B

羊水染色体検査の説明資料
横向きに和が1

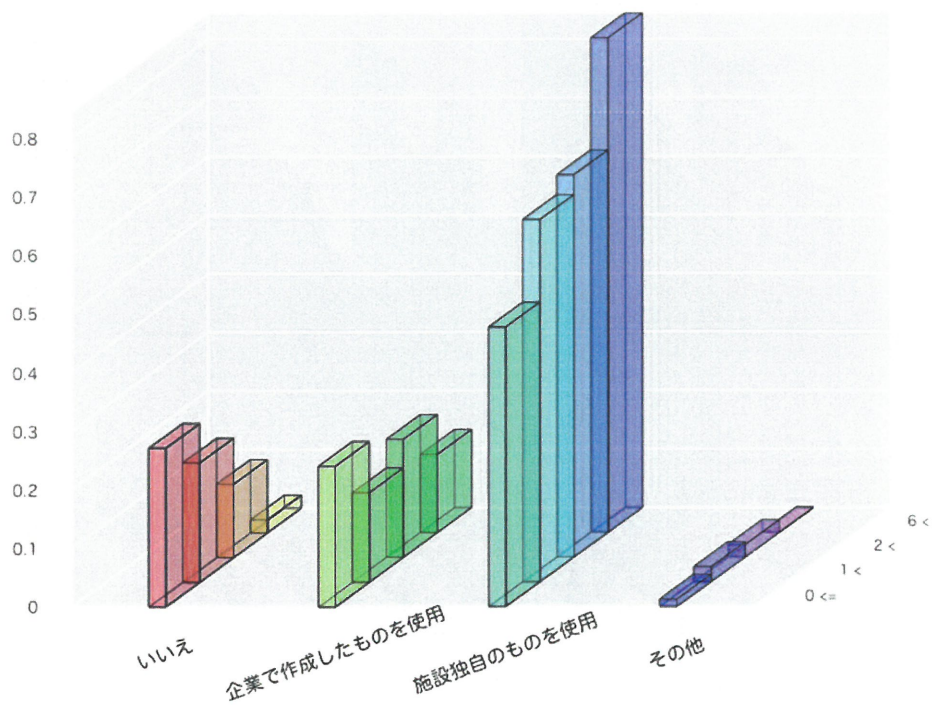


図 64-A

羊水染色体検査前の説明事項
生データ

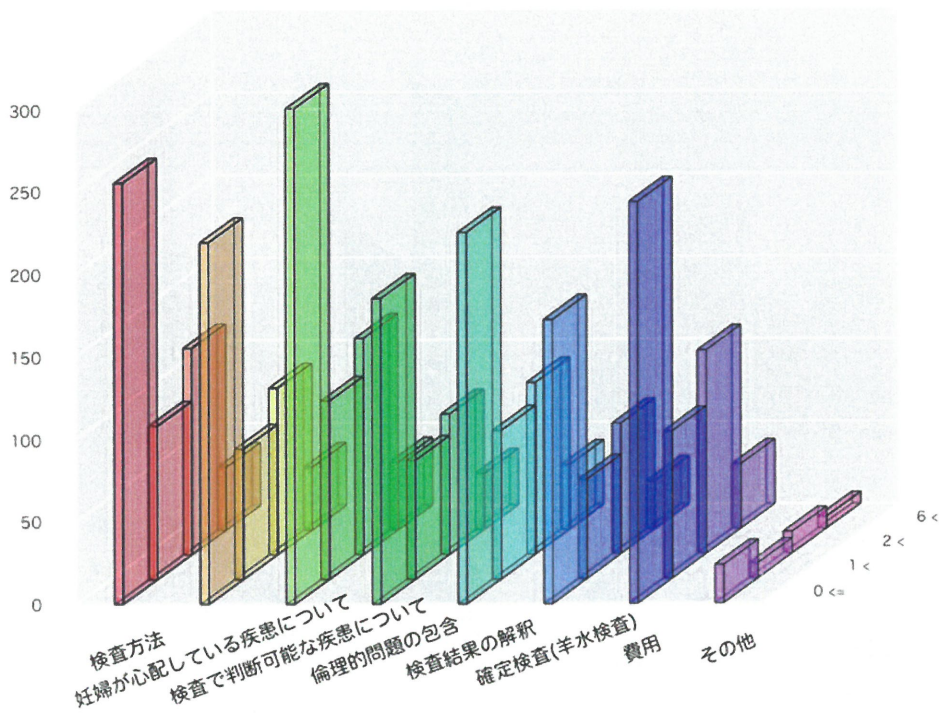


図 64-B

羊水染色体検査前の説明事項
横向きに和が1

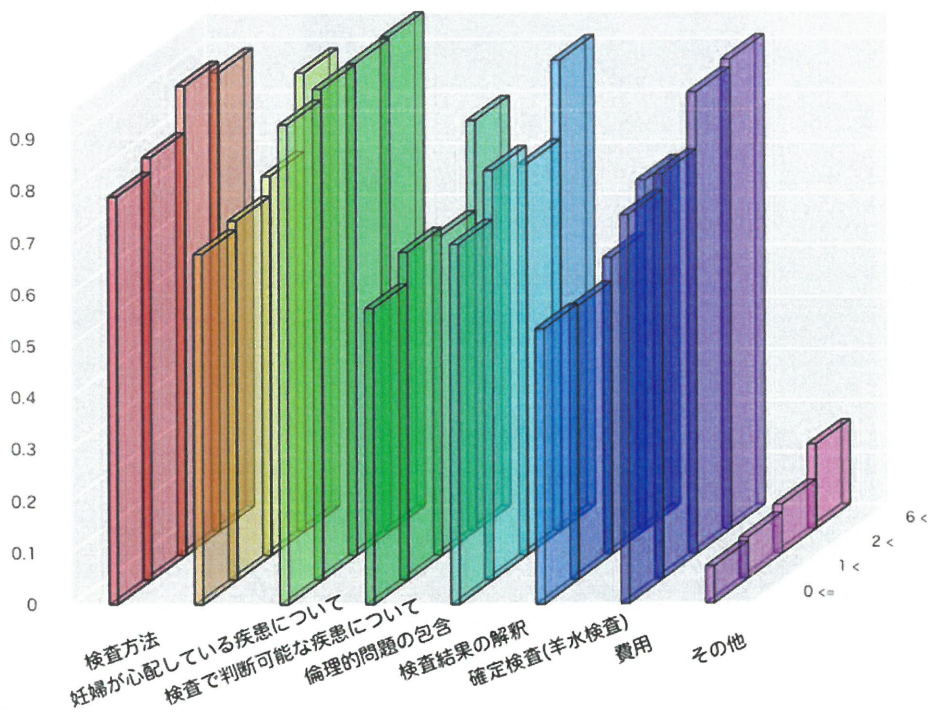


図 65-A

羊水染色体検査後の主な説明担当者
生データ

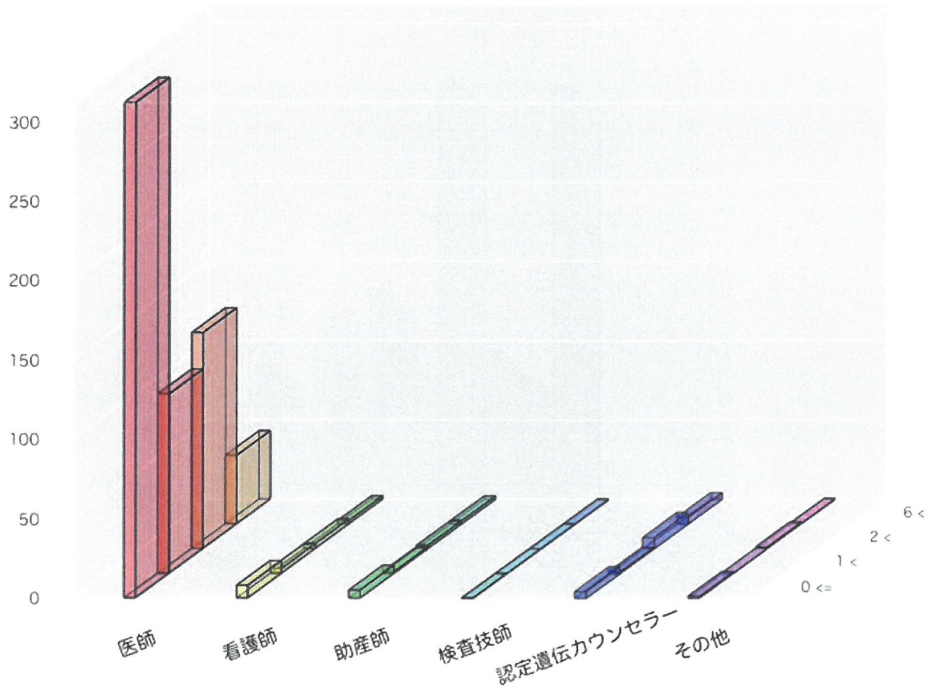


図 65-B

羊水染色体検査後の主な説明担当者
横向きに和が1

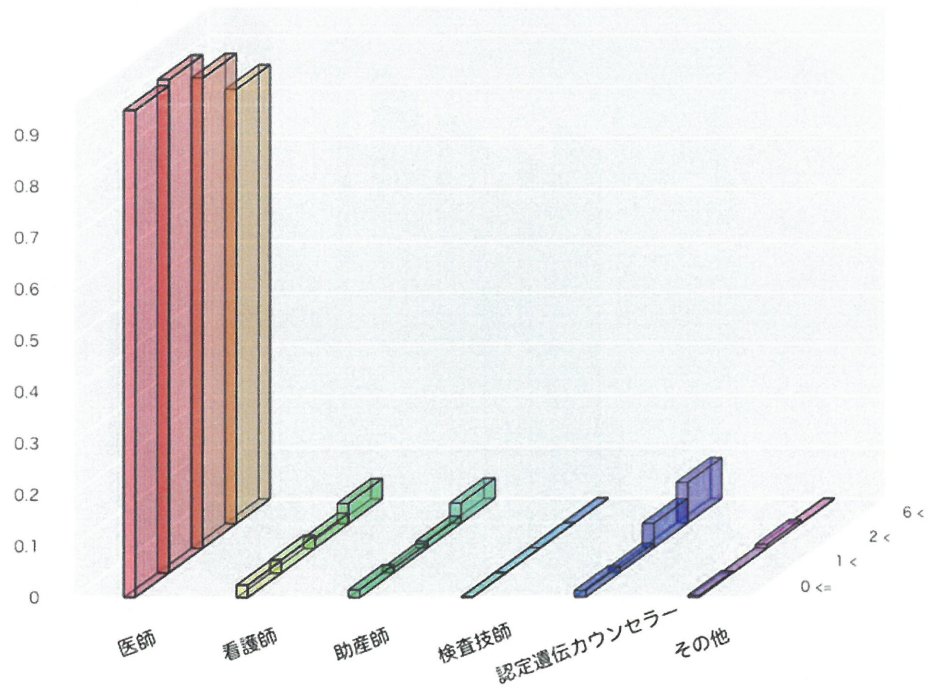


図 66-A

羊水染色体検査の結果が異常核型だった場合の説明時間
生データ

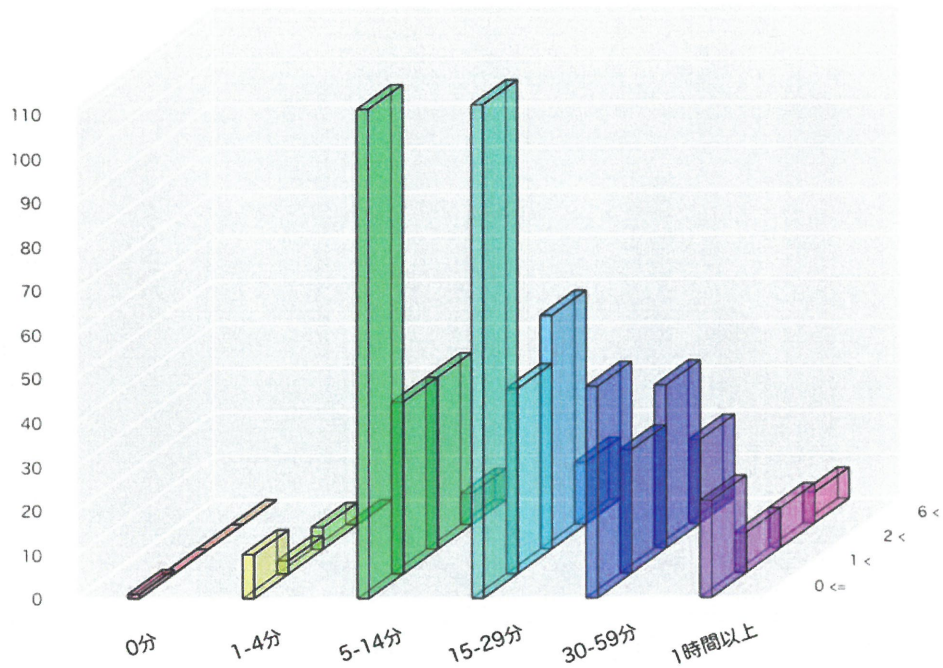


図 66-B

羊水染色体検査の結果が異常核型だった場合の説明時間
横向きに和が1

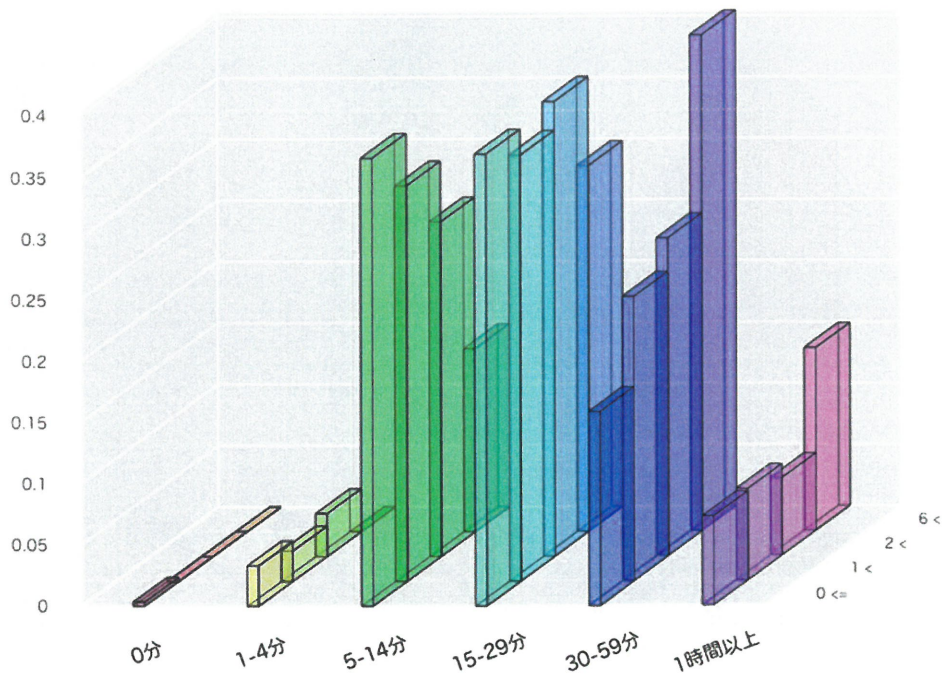


図 67-A

羊水染色体検査の結果が正常核型だった場合の説明時間
生データ

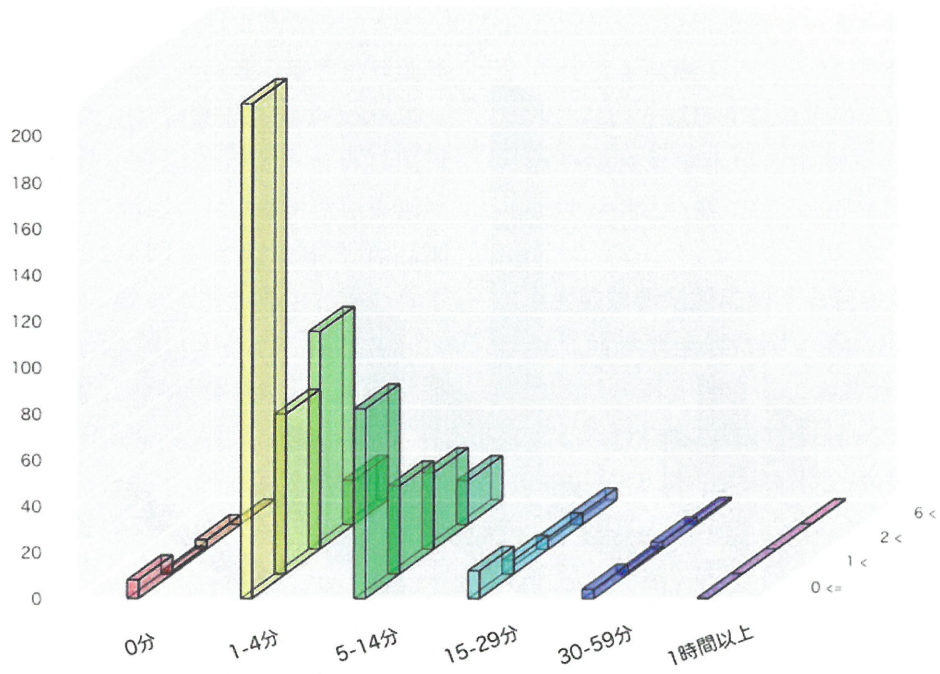


図 67-B

羊水染色体検査の結果が正常核型だった場合の説明時間
横向きに和が1

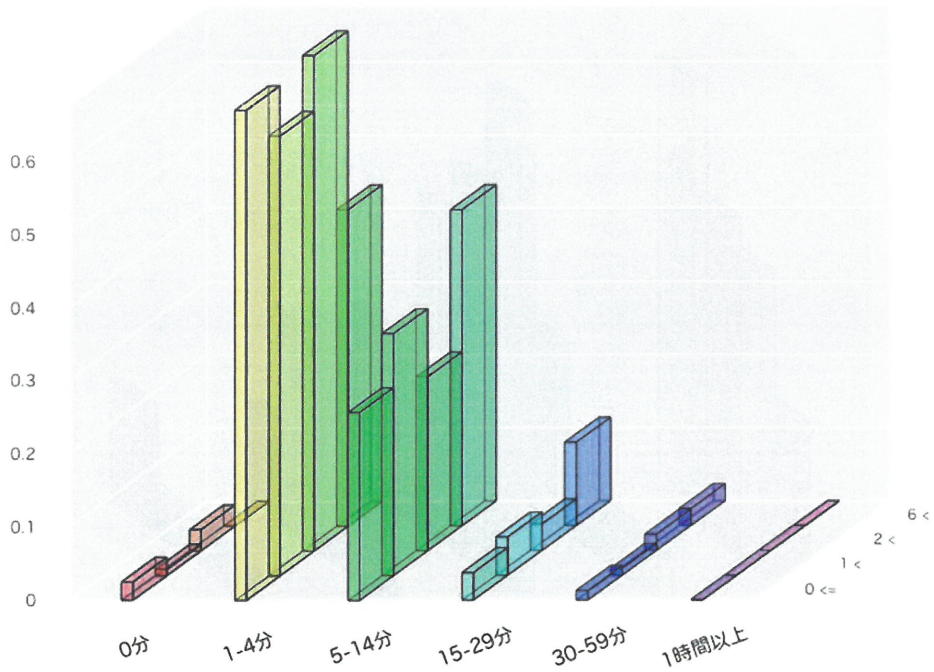


図 68-A

羊水染色体検査結果の説明に苦慮した場合の対応
生データ

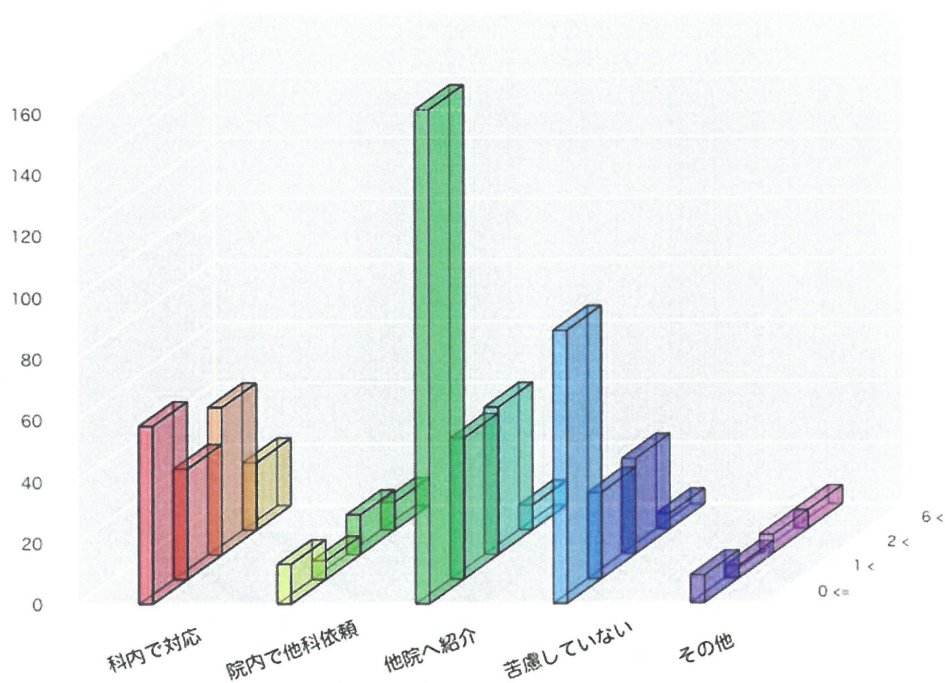
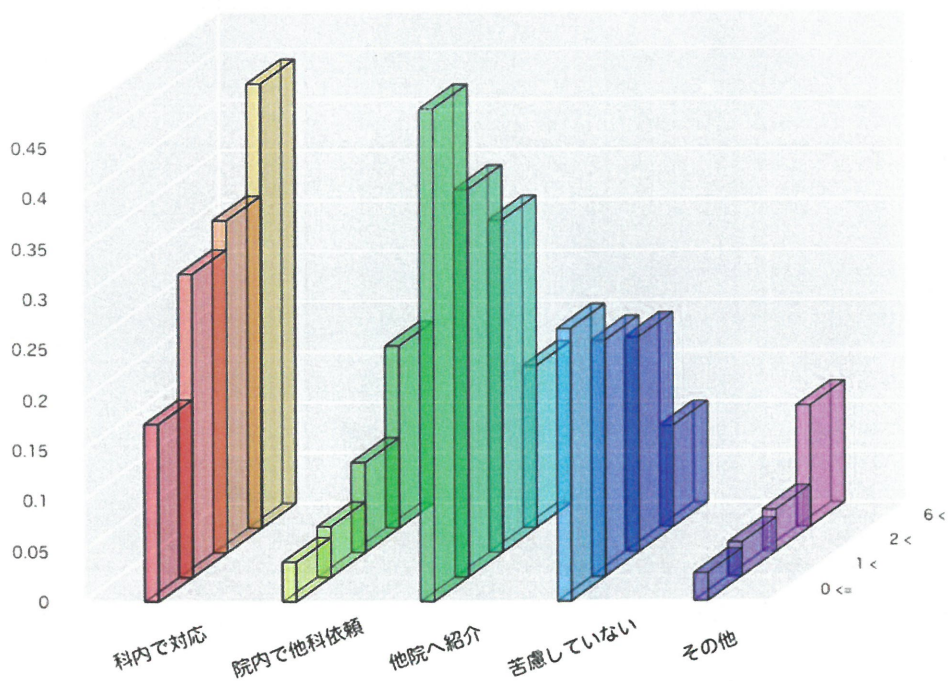


図 68-B

羊水染色体検査結果の説明に苦慮した場合の対応
横向きに和が1



(4) 自由記述欄における、ワードクラウドによる単語出現頻度の可視化

a 母体血清マーカー検査の対象となるハイリスク妊婦

質問票では、母体血清マーカー検査の対象妊婦としてハイリスクと判断した場合のハイリスクの具体的内容を記述するよう求める項目がある。この欄への記述における単語出現頻度を単語のサイズに反映させて表示した(図69)。この解析から最も頻度が高いと思われるものは、「高齢」、「35歳以上」という語であり、その他に、「既往歴」、「染色体異常」、「NT」、「家族歴」、「40歳」などが見えてくる。

b 羊水染色体検査の対象となるハイリスク妊婦

質問票では、羊水染色体検査の対象妊婦としてハイリスクと判断した場合のハイリスクの具体的内容を記述するよう求める項目がある。この欄への記述における単語出現頻度を単語のサイズに反映させて表示した(図70)。この解析から、頻度が高いと思われるものは、「染色体異常」、「高齢」、「既往歴」、「NT」という語で

あり、その他に、「35」、「40」、「マーカー」、「陽性」などの語が見えてくる。高齢妊婦をハイリスクと判断する傾向があるものの、母体血清マーカーと違い、明確な年齢を設定しない傾向があることと、母体血清マーカー検査陽性例をハイリスクと判断したうえで羊水染色体検査を行う、という順序が読み取れ、逆に母体血清マーカー検査を羊水染色体検査の前段階のスクリーニングと位置づける傾向が読み取れる。

c 出生前診断全般に関する自由記述欄の記載

出生前診断全般に関する自由記述欄については、ワードクラウドによる分析を行っても、有意と思われる単語は見られなかった。その中で、「中絶」という語が比較的高頻度に現れる単語として捉えられた。自由記述欄の記載を記載内容から、出生前診断の導入を推進する立場の記載と、出生前診断の導入に対して慎重な立場の記載に大別すると、全228の記載のうち、推進が90、慎重が103、推進・慎重のどちらともいえない記載が35であり、推進する立場と慎重な立場が拮抗する状況であることがわかった。